

こども子育てまちづくりフォーラム開催事業

『このまちがだいすき！こども×子育て×まちづくり』

～地域で育つ子どもたち、地域を育てる子どもたち～

■平成29年度事業費 3,240千円
(うち3,000千円は平成29年度シンポジウム助成事業を活用)

主催:高知市,一般財団法人自治総合センター
後援:総務省(他関係機関にも依頼予定)

■事業目的

平成23年度から毎年,地域のつながりの重要性や地域と行政の協働のあり方などを考える啓発の場として,広く一般市民を対象に「地域コミュニティを考えるフォーラム」を開催している。

新たな地域活動の担い手の確保・育成につなげていくためにも,平成29年度は,若い世代やまちづくりに関心の薄い層,特に子育て世代やその子ども達を対象としたフォーラムを開催するもの。

また,本市における,子ども達のまちづくり活動を支援する「こうちこどもファンド」という助成制度では,これまでに様々な分野の活動に助成してきた。こうした子ども達の活動により,地域における子育て環境の向上や人間関係の希薄化が解消されることで,地域の活性化につながることを期待しており,子どもが持つ「まちづくり」のパワーを今後さらに発展させていきたいと考えている。

こうしたことから,“こども×子育て×まちづくり”をキーワードに,子どもと保護者(子育て世代)がまちづくりに関わることは,自分自身のため,引いては社会全体のためになるということを考えるきっかけとなるシンポジウム及びワークショップを開催し,より豊かな地域コミュニティの形成を目指す。



※このシンポジウムは全国モーターボート競走施行者からの拠出金を受けて実施するものです。

■事業概要

○開催日時:平成29年7月30日(日) 9時30分～16時10分

○会場:総合あんしんセンター 3階大会議室



○内容

午前の部 シンポジウム 9時30分～12時00分 定員300名

・**基調講演** 『地域で育つ子どもたち
～みんなで子育て・みんなで生きるまち～』

講師 安藤哲也氏 (NPO法人 ファザーリング・ジャパン 代表理事)

・**パネルディスカッション** 『子どもと保護者がまちづくりに関わる意義』

パネリスト 安藤哲也氏

安藤桃子氏 (映画監督)

卯月盛夫氏 (早稲田大学社会科学総合学院 教授)

島中智子氏 (株式会社わらびの 代表)

田部未空氏 (島根県立^{おきどうぜん}隠岐島前高等学校2年生:
こうちこどもファンド経験者)

午後の部 ワークショップ 13時00分～16時10分 定員103名

『103(とさ)×人(ひと)×未来 まちづくり会議
～未来へつなぐまちづくり～』

講師 卯月盛夫氏 / 島中智子氏 / 島中洋行氏

テーマ:「子どもと家族にとって優しいまち・高知を考える」

※公募により集まった大人・子ども達が参加するワークショップを行う

・基調講演



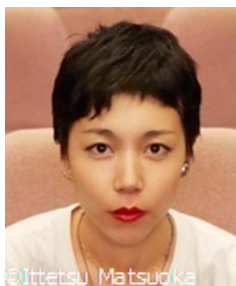
安藤 哲也 氏

(NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事)

【プロフィール】

1962年生。出版社、IT企業など9回の転職を経て、2006年に父親支援のNPO法人ファザーリング・ジャパンを設立。「笑っている父親を増やしたい」と講演や企業向けセミナー、絵本読み聞かせなどで全国を歩く。最近は、管理職養成事業の「イクボス」で企業・自治体での研修も多い。厚生労働省「イクメンプロジェクト推進チーム」顧問、にっぽん子育て応援団 共同代表等も務める。著書に『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方』(NHK出版)、『できるリーダーはなぜメールが短いのか』(青春出版社)など多数。3児の父親。

・パネルディスカッション



安藤 桃子 氏

(映画監督)

【プロフィール】

1982年東京生まれ。高校時代よりイギリスに留学、ロンドン大学芸術学部を次席で卒業。その後、ニューヨーク大学に進学し、映画作りを学び、監督助手として働く。2011年、長編小説「0.5ミリ」を刊行、また同作を映画化し、自身で監督・脚本を務めた。同作のロケを行った高知市に移住。1児の母。独創的な世界観で雑誌のフォトグラファー等に携わる一方、講演会やトークショーなど多岐に渡り活動中。



卯月 盛夫 氏

(早稲田大学社会科学総合学院 教授)

【プロフィール】

1953年生まれ。早稲田大学建築学科、同大学院修士課程修了後、ドイツのシュトゥットガルト大学大学院博士課程留学、ハノーバー市・シュトゥットガルト市都市計画局勤務後、トリープ教授主宰の都市デザインアトリエ勤務、帰国後、世田谷区都市デザイン室主任研究員、世田谷まちづくりセンター所長、1995年4月より早稲田大学教授、早稲田大学「参加のデザイン研究所」所長、博士(工学)、一級建築士。

※ワークショップにも参加



畠中 智子 氏

(株式会社わらびの 代表)

【プロフィール】

1959年高知県旧香北町蕨野(わらびの)生まれ。1992年に「高知のまちづくりを考える会」発足後、市民誰もが自由に気軽に参加できる会議スタイルとして「ワークショップ」手法に注目。まちづくり、福祉、教育、人権、商品開発など、参加型の場面ならばジャンルを問わずワークショップのファシリテーターとして活動。2012年12月12日、まちづくりや地域おこし、一次産業の振興などに関わる企画実践を主とした「株式会社わらびの」を設立。

※ワークショップにも参加



田部 未空 氏

おきどうぜん

(島根県立隠岐島前高等学校2年生・こうちこどもファンド経験者)

【プロフィール】

島根県立隠岐島前高等学校2年生。中学生時代に「こうちこどもファンド」の審査員やファンドを活用し、地元行川の郷土料理などを紹介する本『食のカタログ』を作成する活動を行う。中学卒業後は、さらに地域活動活性化を学ぶために、島根県の離島の高校へ単身で入学し、日々地域へ貢献する活動を行っている。

・ワークショップ



畠中 洋行 氏

【プロフィール】

1951年高知市生まれ。77年東洋大学大学院建築学専攻修士課程修了。79年大学時代の仲間と榊若竹まちづくり研究所を設立し、住民参加によるまちづくりに取り組む。2006年6月末同研究所を退職後、認定NPO法人NPO高知市民会議事務局長に就任。2013年6月に退職。現在、フリーの立場で市民活動・まちづくり活動のお手伝い中。2007年に「とさつ子タウン」のしくみを構築し、以後運営に携わるとともに、2011年には「こうちこどもファンド」の立ち上げに携わり、2012年から同ファンドのアドバイザーとして関わっている。